

点検・維持管理推進

10月10日は住宅部品点検の日

消費者庁と全相協と取り組んだシンポジウム前の6ヶ月

住宅部品点検推進部会 点検普及消費者対応委員会 委員長 柴崎 和彦

「自分で点検！ハンドブック」、いいものができた。キッチンまわり、浴室まわり、洗面・トイレまわり、給湯まわり、居室まわり、外装まわりの住宅部品のうち重大事故につながるおそれがある、わずか数箇所を居住者が点検することで、安全・安心に使用してもらうためのツールである。これを広く世間の皆様にお伝えし、活用いただくにはどうすればいいのか？

4月より月一ペースで会議を開催し、消費者に住宅部品の点検を普及することに対して様々な意見交換を行い、方向性を定めこのミッションに取り組んでいる。

当委員会は住宅部品点検推進部会内にあり、他に点検普及ビルダー対応委員会、業界連携委員会、広報・イベントWGがあり、各委員会・WGの接点で住宅部品点検の普及を行っているといえる。

点検普及ビルダー対応委員会では設備・建材メーカーと居住者の間にある住宅建築業者、いわゆるビルダー経由で、業界連携委員会は23の業界団体経由で、広報・イベントWGは広く社会全般と「住宅部品点検の日シンポジウム」を通じての普及促進を鋭意行っている。

上記接点以外で、当委員会でターゲットとしている消費者に影響のある組織は何か？「住宅部品点検の日



「住宅部品」でフリーワード検索

消費者庁HP 消費者教育ポータルサイト検索の流れ

たいと要請したところ、快諾いただいた。アンケート結果(46部回収)より、住宅設備機器・建材に関する相談があるかを聞くと、全体でほぼ半数があるという回答であった。また、理解のしやすさでは、とても理解しやすい、まあ理解できるを含めると全体では8割以上であった。自由回答を含めてアンケート結果は現在分析の真っ最中である。

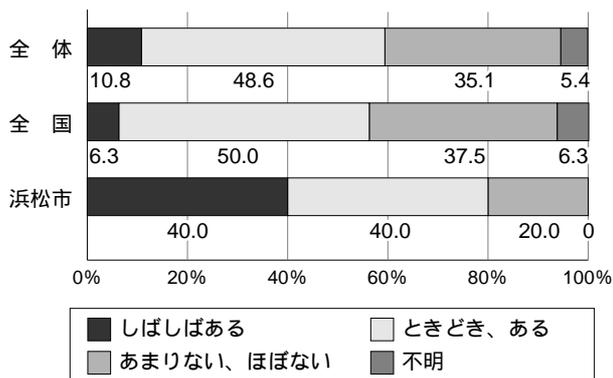
消費者への住宅部品点検の普及というミッションに

取り組み7ヶ月。住宅部品を安全・安心に使用してもらうには点検がかかせないという理解を前提に、消費者接点として、消費者庁HP、全相協会向け情報伝達手段というインフラを確保することができた。

今後は、このインフラの活用はもちろん、さらなる消費者接点の拡大にはどうすればいいかを考え、施策立案し、来期につなげたい。4月より、光が明るくなってきた。

Q. 住宅設備機器、建材に関する相談の有無

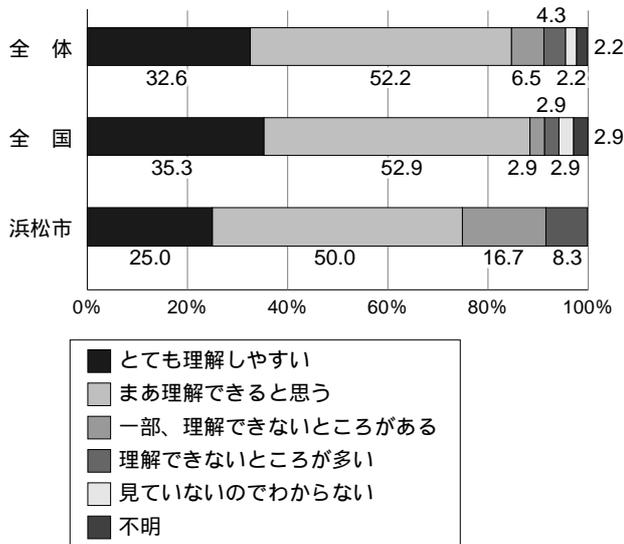
	全体	しばしばある	ときどきある	あまりない、ほぼない	不明
全体	37	4	18	13	2
	100	10.8	48.6	35.1	5.4
全国	32	2	16	12	2
	100	6.3	50	37.5	6.3
浜松市	5	2	2	1	-
	100.0	40.0	40.0	20.0	-



46名のうち、9名は消費生活相談員以外と回答のため、母数は37

Q. 自分で点検！ハンドブックの理解しやすさ

	全体	とても理解しやすい	まあ理解できると思う	一部、理解できないところがある	理解できないところが多い	見ていないのでわからない	不明
全体	46	15	24	3	2	1	1
	100	32.6	52.2	6.5	4.3	2.2	2.2
全国	34	12	18	1	1	1	1
	100	35.3	52.9	2.9	2.9	2.9	2.9
浜松市	12	3	6	2	1	-	-
	100.0	25.0	50.0	16.7	8.3	-	-



「自分で点検！ハンドブック」に関する消費生活相談員アンケート結果より

